



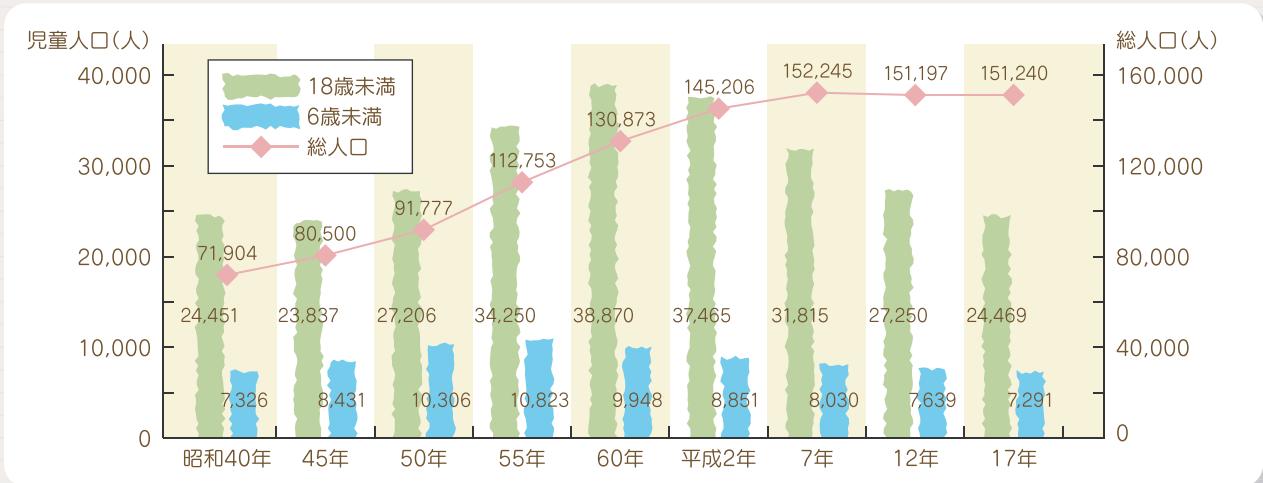
特集 子育て支援のまちづくり

少子化や核家族化、人間関係の希薄化に加え、近年の経済情勢の悪化など社会のさまざまな変化により、子育ての環境はますます厳しくなっています。野田市では、次世代を担う子どもの健やかな成長を願い、平成12年3月に、「子育ての基本は家庭に」、「子育て支援は地域ぐるみで」という観点から、子育て支援策の方向性を示す「野田市エンゼルプラン」を策定し、休日保育やファミリー・サポート・センターなどさまざまな事業を実施してきました。

平成16年には、こうした市の積極的な取り組みが国に認められ、「子育て支援総合推進モデル市町村」に指定されたことから、さらなる子育て支援の充実に向け、17年3月にはモデル市町村として必要な事業や市民の皆さんとの意見を反映した「野田市新エンゼルプラン」を策定し、子育て支援総合コーディネート事業や訪問型一時保育事業などにも取り組んできました。

さらに、22年には「プランを見直し」「野田市新エンゼルプラン（後期計画）」として市民ニーズが高い保育サービスの拡充に努め、安心して楽しく子育てできるまちづくりを進めていきます。

総人口と児童人口の推移（資料：国勢調査）



※平成12年以前の人口は旧野田市と旧関宿町の合計